

イオンタウン 株式会社

社会学部現代社会学科

3年 鈴木 翼

1. 実習企業（団体）の概要

イオングループの中で近隣型ショッピングセンター事業を担い、全国各地において、スーパーマーケットやディスカウントストアを核とした、お客様の日々の暮らしに密着した各種専門店を取り揃えたショッピングセンター開発を行っている。お買い物をする場だけではなく、コミュニティの場となる、地域に合わせた、潤いのあるまち創りを目指している。

- ・設立 1992年6月 ・資本金 1億円（2016年5月現在）
- ・従業員数 587人（2016年5月現在）
- ・所在地 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1 イオンタワービル10階
- ・代表取締役社長 大門 淳

2. 実習内容

企業説明、自己紹介、グループワーク、フィールドワーク（イオンタウン守谷施設内、周辺地域）、イベント企画グループワーク、プレゼン、フィードバック、10年後のイオンタウンの店舗の企画を考える。

3. 実習の成果

イオンタウン株式会社は、イオングループの中でディベロッパー事業を担っている不動産業です。イオンタウンのインターンシップを通して、ディベロッパー事業の中の商業ディベロッパーという仕事について、フィールドワークやグループワークを通して理解することができました。フィールドワークでは、守谷の店舗に行き、店舗内にはどのようなテナントがあるのか、客層はどうか、また周辺地域では、競合となりそうなお店はないかなどを調査することができました。その後のグループワークでは、フィールドワークをもとに、イオンタウン守谷でのイベント企画を考えました。グループで企画していく中で、どのような順序で企画していけばよいのか、その手法などについて1日目に学ぶことができました。全日程を通して、イオンタウンは、地域密着型でその地域に伝わる文化・祭りなどをイベントとして取り入れていました。

4. 実習の感想

私は今まで1day・2dayインターンシップに10社以上参加しましたが、5dayインターンシップに参加したのはイオンタウンだけでした。1day・2dayに比べると、より実践的で内容も盛りだくさんでした。初日は、他大学の学生たちとのアイスブレイクから始まり、コミュニケーションも取れました。実際にフィールドワークも行い、店舗調査もできて、調べたことをグループで共有しながらイベントの企画を立て、発表できたので、とてもやりがいのあったインターンシップになりました。私は自分の意見を伝えるのが消極的で、グループ内でも1番静かではありましたが、それでも自分の実体験に基づいたことを含めながら議論できたので、グループの一員としての役割を果たせたと思いました。

日数	実習日	実習内容
1日目	9月4日(日)	幕張:企業説明、自己紹介、グループワーク(2日目の準備)
2日目	9月5日(月)	守谷:フィールドワーク(イオンタウン守谷施設内、周辺地域)
3日目	9月6日(火)	幕張:イベント企画グループワーク
4日目	9月7日(水)	幕張:グループワークの続き、プレゼン、フィードバック
5日目	12月10日(土)	イオンコンパス東京駅前会議室:4日間のインターンシップで、イオンタウンの仕事や商業ディベロッパーの仕事について学んだが、それらを生かして、10年後のイオンタウンの店舗の企画を考える。